

第16回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年2月22日（木） 16:00～17:30

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、薬師寺座長代理、市川委員、小野田委員、倉本委員、藤井委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

行松審議官、須藤参事官、山口参事官、佐藤参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 谷課長

宇宙開発利用課宇宙利用推進室 庄崎室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） 伊藤執行役

宇宙科学研究所 久保田教授

4. 議事要旨

(1) 国際宇宙探査ロードマップについて

JAXAから資料1-1に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。

○各国の個別プロジェクトと本ロードマップの関係についての質問があり、緩やかな協力と固い協力が混在していて、個別の協力については、2国間・3国間で協議されている旨の説明があった。

○各国がターゲットとしている月の水についての質問があり、JAXAとしては電気分解により水素と酸素にし、推進薬に用いたい旨の説明があった。

(2) ISEF2の準備状況について

文部科学省、事務局から資料2に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。

○第1回会合と比べ、新たに出されるものについての質問があり、「共通原則」といった文書は今回初めて策定する旨の説明があった。

○米国の政権交代による影響についての質問があり、政権交代があっても国際協力へのスタンスは変わっていない旨の説明があった。

(3) 宇宙科学・探査に係る工程表の改訂について

事務局から資料3に基づき説明が行われた。

(4) JAXAの宇宙科学・探査分野の平成30年度予算案について

文部科学省から資料4に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。

○宇宙科学予算の減少傾向についての質問があり、プロジェクトの進捗に伴う変動である旨の説明があった。

○宇宙科学の活動をしっかりと行えるだけの予算を確保する必要がある、予算要求に向けて工程表の議論をしっかりと行う必要がある、といった意見があった。

(5) NASAの宇宙科学・探査分野の2019年度予算要求の動向について
事務局から資料5、参考資料に基づき説明が行われた。

(6) その他
事務局から、今後の予定等について連絡があった。

以 上